

プロトコール名 Weekly パクリタキセル/カルボプラチン併用療法

- 進行・再発癌
 術後補助化学療法
 術前補助化学療法
 大量化学療法
 局所療法
 その他()

投与順	抗癌剤名(商品名・略号)	1日投与量	投与法	投与時間	投与日(d1, d8等)
1	パクリタキセル(タキソール・PAC)	70mg/m ²	div	3時間	d1、8、15
2	カルボプラチン(パラプラチン・CBDCA)	AUC=6	div	1時間	d1
3					

1コース期間 (次コースまでの標準期間)	4週間
総コース数	4～6コース
コース間での休薬の規定	白血球<2000/mm ³ ないし好中球<1000/mm ³ または血小板<25000/mm ³ の場合は投与延期

減量規定・中止基準	※Grade3/4の好中球減少+発熱時 ※Grade4の血小板減少時
投与量の増量規定	なし
投与期間の短縮規定	なし
コースによる変化	なし
1日の中での抗癌剤投与順	PAC → CBDCA
プレメディケーション・ポストメディケーション	プレメディケーション タキソール投与30分前にデカドロン8mg、ガスター20mg、レスタミン50mgの投与を完了すること

患者条件(初回条件)

※CTCAE v3.0

- ・PS 0～2
- ・主要臓器機能に大きな異常がない

除外規定

- ・PS 3以上
- ・重篤な骨髄抑制のある患者
- ・感染症を合併している患者
- ・本剤又はポリオキシエチレンヒマシ油含有製剤に対し過敏症の既往歴のある患者
- ・妊婦又は妊娠している可能性のある婦人

実施上の注意点

慎重投与

- ・PS 2以上
- ・肝障害、腎障害のある患者
- ・アルコールに過敏な患者
- ・糖尿病患者
- ・骨髄抑制のある患者
- ・75歳以上の高齢者
- ・間質性肺炎又は肺線維症の患者
- ・高血圧患者

その他(特記事項)

タキソール

- ・本剤投与時には、0.22ミクロン以下のメンブランフィルターを用いたインラインフィルターを通して投与すること。また、点滴用セット等で本剤の溶解液が接触する部分に、可塑剤としてDEHPを含有しているものの使用を避けること。
- ・本剤投与による重篤な過敏症状の発現を防止するため、本剤投与前に必ず前投薬を行うこと。前投薬としては本剤投与約12～14時間前及び約6～7時間前の2回、もしくは本剤投与約30分前の1回デキサメタゾンとして20mgを静脈内投与、本剤投与約30分前に塩酸ジフェンヒドラミンとして50mgを経口投与、本剤投与約30分前にファモチジンとして20mgを静脈内投与すること。